

乱立したサーバの仮想環境への集約

お客様の課題

- 部門毎に乱立したサーバの導入コスト、運用管理負担を減らしたい
- 使用頻度の少ないサーバを集約したい

提案ポイント

- 仮想化ソフトウェアを活用し、乱立したサーバを**仮想環境に集約**
- ピークの異なる業務を仮想環境(VMware/Hyper-V/Nutanix/KVM※)に集約し、**ピークに応じてリソース配分**を変更
※KVM *1はRHELに標準搭載。別途仮想化ソフトウェア購入が不要

*1 <https://www.fujitsu.com/jp/products/software/os/linux/featurestory/kvm/index.html>

提案ポイントの詳細

乱立したサーバを仮想環境に集約

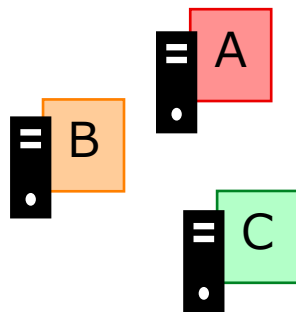
- ・ サーバを仮想環境に集約することで、サポート費用、ハードウェア投資費用を削減
- ・ 仮想化ソフトウェアを採用し、管理対象サーバを減らすことで、稼働監視や修正適用等の面でシステム管理者の負担を軽減
- ・ 管理するハードウェアの数を減らし、光熱・空調費を削減

ピークに応じたリソース配分

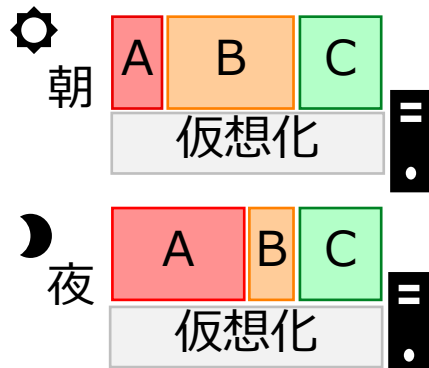
- ・ フェーズやピークに応じて必要とされるリソースが異なる業務を仮想環境に集約することで、未活用となっていたサーバのリソースを有効活用

導入効果

部門毎にサーバ運用



サーバを集約



- 富士通のLinuxソリューションや、Linux製品についてのお問い合わせは、下記お問い合わせページよりご依頼ください。

Linux情報へのお問い合わせ

<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/os/linux/contact/>